

○担任者 小 川 一 仁

○テーマ 情けは人のためならず―人間行動から社会を眺めよう―

○指導概要

「情けは人のためならず」の意味を理解していますか？他人に情けをかけることはその人にとってよくないことだから、人を安易に助けてはいけない。いかにも正しそうな解釈ですが、完全に間違っています。この言葉の本当の意味は、他人に情けをかけておくことは、将来自分が困ったときに援助してもらえる、という意味です。このような行為は人間社会において、洋の東西を問わず普遍的に観察されるのですが、純粋利己的な個人を想定する古典的な経済学ではとても扱いづらい行動でした。

ただし、近年では、人間が行う複雑な行為を広く分析できるようになってきました。この背景には経済理論自身の発展や近接諸科学(社会学や人類学、心理学、生物学)からの影響があります。

平成 25 年度の本ゼミでは、最初に人間行動の複雑性について、テキストを用いながら、輪読形式で勉強します。その後、アンケート調査や実験設計・実験実施の手法を学び、グループワークで研究報告をしていただきます。ここで体験する一連の出来事は卒業論文執筆に大きく役立つでしょう。

以上の学習の前提として(積極的に受容するにせよ、批判的に受け入れるにせよ)ゲーム理論に代表される経済学的な思考が必要です。そこで毎年 3 月にプレゼミを実施し、基本的な経済学の学習も平行して行います。また、年度が始まってからはサブゼミを設置し、主に統計データの取り扱いについて学習する予定です(ゼミ合宿向け勉強会に切り替わる可能性もあり)。プレゼミへの参加は必須、サブゼミへの参加は推奨とします。

卒業論文については 3 年生の後期開始時に、暫定的に卒業論文のテーマを決定してもらいます。3 年次後期にはそれに従い、様々な文献を読み込んだり、理論の勉強や実験やアンケートの手法といった調査技術をより深く勉強します。4 年次では、卒業論文の作成を中心に進めていきます。

3 年次の夏休みには他大学との合同ゼミ合宿を行う場合もあります(平成 23 年度は韓国・仁川大学、平成 24 年度は広島市立大学と実施しました)。上記グループワークの成果をこの合宿で報告していただくことになると思います。

○応募者への課題

下記の書籍のどれか 1 冊を読み、興味を持った章を要約して下さい。

- ・梶井厚志「故事成語でわかる 経済学のキーワード」中公新書 2006 年
- ・大竹文雄「競争と公平感」中公新書 2010 年
- ・生天目章「嘘つきは得をするか」ソフトバンク新書 2007 年

○教科書 小田亮、『利他学』新潮選書, 2011, 1,200 円+税

○参考文献 授業中に指示します。

○応募者への要望 社会常識の遵守(時間を守る、欠席の連絡、報告を逃げない、ゼミで行われる各種行事への参加…)をお願いします。ゼミコンパは各期2回程度あります(気まぐれに教員が飲みに関連して行く場合もあり)。合宿もあります。質問は kz-ogawa@kansai-u.ac.jp まで。件名は「ゼミに関する質問」として下さい。3年生ゼミは毎週火曜日3限A407で実施しています。サブゼミは隔週火曜日5限C503他で実施しています。